

第4回津島市総合戦略策定委員会

日 時 平成28年1月22日（金）
午前10時から
場 所 津島市役所 5階 委員会室

【配布資料】

資料1 津島市人口ビジョン（案）

資料2 津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

開 会

次第1 議題

議題1 津島市人口ビジョン（案）について

議題2 津島市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

事務局より一括説明

（委員長）

- ・数値目標が二つあるが、目標指標は、基本目標が達成されているか確認するための数値であり、重要業績評価指標は、主な事業や施策の方針を把握するための数値である。
- ・総合戦略の指標、進行を測る指標としての妥当性、加えられた施策の妥当性についてご意見をいただきたい。

〈委員〉

- ・目標値等について、数字合わせはできるが、どう評価していくのか、何のために増やすのかが重要である。

〈委員長〉

- ・数が増えると実のある結果がついてくる指標を選ぶ必要があり、評価指標と目標値の達成を目指す。

〈委員〉

- ・観光客を増やす目標値があるが、意味があるのかどうか。

〈委員長〉

- ・観光客を増やすことは、津島市の観光の振興、この戦略においての適切な指標かどうかご意見があればいただきたい。
- ・指標は、簡単に数値が把握できるものでないといけないことが難しく、数値を取るために多大な労力を必要とするものは相応しくない。
- ・他市町村でもK P Iの立て方に苦労しており、これ以外に選択はないという指標もある。

〈委員〉

- ・ K P I を利用した P D C A サイクルを確立すると断言されており、誰が評価してどうするのか分からない。

〈委員長〉

- ・ P D C A の方法について、国から示されているのか。

〈事務局〉

- ・ 来年度、委員会等を立ち上げて中身を評価しながらご意見をいただく仕組みを作っていく予定である。

〈委員〉

- ・ 他市町村と比べて、津島市の特徴はどこか。

〈委員長〉

- ・ 10 代、20 代の転出を抑制する、特に女性の転出を抑えると、割とはっきり特色を出している。
- ・ 力を入れる事業も手厚く書かれており、良いことであると思う。

〈委員〉

- ・ 防災・減災対策の充実に係る指標で、自主的に防災を進めるためには、消防団の役割が大きいいため、消防団の定員数を維持する指標があっても良いのでは。

〈委員〉

- ・ 保育の送迎ステーションについて、具体的な内容は。

〈委員長〉

- ・ 社会実験的に行うことであり、方法を含めてこれから考えるということである。

〈事務局〉

- ・ 全国各地で行われており、津島市の拠点性を活かして取り組んでいけるものである。
- ・ 需要や効果を検討しながら進めていきたい。

〈委員〉

- ・ 津島市の特徴を前面に出すことが重要である。
- ・ 他にない魅力は、津島の歴史である。

〈委員〉

- ・ 事業ごとに市としての優先順位を示した方が良い。
- ・ 事業の優先順位を示すとメリハリが出て、市民に分かりやすくなる。

〈委員長〉

- ・ 現実の政策の中で、どれに重点を置くのか、何を選択するのかは、首長、議会、行政で検討していくこととなる。

〈委員〉

- ・ 上から重要な順に示しているのではないのか。

〈事務局〉

- ・ 優先順位ではないが、目立つものを示すように意識している。

〈委員〉

- ・ まち・ひと・しごと創生法は平成 26 年度に施行されており、総合戦略は、28 年度からの

実施であるが、国に支援を要請していくのか。

〈委員〉

- ・平成 28 年度は、自治体向けに 1 千億円の予算がある。
- ・大きな変化がなければ、途中でやめることはない。
- ・長い目では政策変更はあるかもしれないが、しばらくは地方創生のための自治体へのサポートはある。

〈委員〉

- ・平成 27 年度実施事業も入っているが。

〈事務局〉

- ・これらの事業は、総合戦略に掲載させることを前提に実施されているものであり、今年度交付金の申請を行っている。

〈委員長〉

- ・豊かな心を育てる活動の開催回数は、事業目標や子どもが健やかに成長できる環境づくりのテーマにつながっていく指標かどうか。

〈委員〉

- ・津島市の教育は、この地域では質的には高い。
- ・豊かな心を育てる活動は、市独自の取組みとして、ここ数年続いている。
- ・放課後子ども教室の関係を目標にしても良いのでは。

〈委員長〉

- ・郷土愛を育むふるさと学習の推進や、子どもたちが地域の活動に参加しているかどうかの意味のある指標だと思われる。

〈委員〉

- ・市内の 6 年生全員を対象に、郷土の歴史の試験を商工会議所で行っている。
- ・学校では、郷土を回ったり、歴史を散策するなどしており、津島市として自慢できる事業の一つである。

〈委員長〉

- ・そういった活動が使えるのではないか。

〈委員〉

- ・行政が行う事業だけで、民間が行う事業が書かれていない。

〈委員長〉

- ・文部科学省が行っている調査で、地域の活動に参加しているか、将来の夢を持っているかなど、指標として使える項目があるのでは。

〈委員〉

- ・多くある祭りに参加することにより、コミュニティの役割の強化、防災につながり、コミュニティが立派なものになる。

〈委員長〉

- ・製造品出荷額を指標とすると、工業誘致が主眼となり、他の産業が軽く見える。
- ・多様な職場の確保を進めるのがテーマであるので、指標とするのは逆ではないか。
- ・多様な職場として、全体を測れるような指標があると良い。

〈委員〉

- ・多様な仕事とは。

〈委員長〉

- ・津島市には働く選択肢がないというアンケート結果があり、これを製造業、観光、ICTなど多様な選択をできるような形にし、あらゆるタイプの産業を振興することである。

〈委員〉

- ・労働条件の改善による働きやすい職場ということなら、労働災害の数の減少も指標に加えてもよいのでは。

〈委員長〉

- ・企業見学や職場体験を進めるのは大切なことであるが、指標としてもう少し積極性のあるものはないか。
- ・特定創業支援事業による創業者数 36 となるが、商工会議所では毎年 20 件ほど受講しており、提携すれば容易に達成できると思われる。
- ・行政だけでなく、団体等と協力すれば良いと思われるものが多くある。

〈事務局〉

- ・特定創業支援計画に基づいた数値である。
- ・商工会議所における数を含めるかどうかについては、検討させていただきたい。

〈委員〉

- ・市が地域を指定して町家等に入居を促進することについて、金融業として支援したい。
- ・想定している地域はあるのか。

〈事務局〉

- ・駅西の歴史文化ゾーンについての取組みは行っている。
- ・町家の保存区域において支援するというのであれば、検討させていただきたい。

〈委員〉

- ・職場体験については、現在、主に中学生を対象に実施している。
- ・今後、小学生を対象に行うのか、中学生とするのか。

〈委員〉

- ・職場体験の目的は。

〈委員〉

- ・一つは体験。もう一つは将来の夢に対して現実の社会を知ることである。
- ・体験した職業について、少しの資料を得ることもある。

〈委員〉

- ・小学生、中学生、高校生のうち、対象として適切なのはどれか。

〈委員〉

- ・今のところ、進路を選択するということで中学生が多いが、キャリア教育ということで小学生でもあり得る。

〈委員長〉

- ・年齢によってテーマが違う。
- ・小学生では、働くということを見ず見る。

- ・中学生では、職業選択との関係も出てくる。
- ・高校の普通科は行っておらず、大学では就職活動として行う。
- ・大垣市では、子どもたちを職場に派遣すると仕事の妨げになるため、学校に経営者等を呼んで実演することを行っている。

〈委員〉

- ・この戦略が出来上がった後、効果的な事業を考えていきたい。

〈委員〉

- ・行政のみでなく、他団体等と一緒に進めていきたい。

〈委員長〉

- ・これで終了させていただくが、事務局から何かあるか。

〈事務局〉

- ・ご意見があった指標等については、再検討させていただきたい。
- ・今後は、パブリックコメントを実施し、総合戦略等を策定していく。
- ・来年度、第三者委員会を設置し、総合戦略等の検証等を行っていく。

挨拶

〈委員長〉

このような会では、意見を言い放す会とまとめの会があるが、今回は意見を言い放す会の位置づけで考えていたが、まとめに入るような進行もしてしまった。

みなさま方のご意見を十分聞き取れることができたか、力不足のところもあったが、言い放す会ということもあり、議論が発散した時には、十分に整理ができなかったが、みなさま方のご協力でこの会が進んだ。ありがとうございました。

内容については、この総合戦略は一定の特色づけ、方向性を打ち出した計画になった。多くの自治体が総合的でアクセントがついていない計画を作りがちの中で、津島市は人口移動、若い女性のことを意識した計画になっている。それなりに具体的な施策も津島市の魅力を高める内容がいくつか含まれた。今後は総合戦略を使って国からお金をもらうとともに、ここからは行政と議会で、具体的にどれをどうやっていくのか議論が深まると思う。

ここに書かれた施策の一つでも二つでも実現することにより、津島市の魅力が上がり、他市に負けない市になってほしい。

どうもありがとうございました。

(日比市長)

閉会に当たり、ご挨拶を申し上げます。

江口委員長、委員のみなさま、4回に渡り、様々な議論をいただきまして、大変ありがとうございました。

みなさまには人口減少、地域の活性化にどう対応していくべきか、多くのご意見をいただいた。今後、津島市としての施策に皆さまからいただいたご意見を反映してまいりたい。

また、津島市総合戦略を策定するにあたってのアンケート調査、ヒアリングで意見をいただ

いている。こうした多くの意見を踏まえ、さらに市民の方から意見をいただいて、人口ビジョン、総合戦略を策定したい。津島市としても総合戦略に基づいて、人口減少、地域の活性化のための施策に取り組みたい。

津島市が生き残るためには、時間も限られているという認識もしている。委員長からも近隣市にも負けないという話もあったが、海部津島地域全体が良い形で連携をしながら、さらに盛り上げていく視点も大切にしながらまちづくりを進めたい。

さらに歴史・文化を生かした施策も行い、市の特徴を生かしたものにしたい。

皆さま方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。